

〈島本音楽協会 第195回コンサート〉

名倉誠人マリンバリサイタル 「無伴奏マリンバの挑戦」

=プログラム=

J. S. バッハ(1685-1750):無伴奏組曲変ホ長調BWV1010*

田辺恒弥(1935-):小組曲「窓」*

ベンジャミンC. S. ボイル(1979-):

「バッハのコラールによる変奏曲」(2016)**

=三つの世界の歌=

名倉誠人:庭の千草による幻想*

瀧廉太郎:荒城の月による変奏曲

初期アメリカ聖歌:アメイジング・グレイス*

レーン・ハーダー(1976-):

前奏曲とフーガ 変ニ長調(2)**

川辺真(1949-):エヴァーグリーン(2020)**

*印は、名倉誠人による編曲作品

**印は、名倉誠人のために書かれた作品



2023/
10/29 (日)

開演：午後2時
(開場：午後1時30分)

島本町ふれあいセンターケリヤホール

【電車】 JR 島本駅から徒歩 7 分 / 阪急水無瀬駅から徒歩 15 分

【バス】 阪急電鉄水無瀬駅, JR 島本駅から「若山台センター行き」に乗車、「島本町役場前」で下車、徒歩約 3 分

賛助会員は会員証提示

正会員は会員証提示の上 500 円 (当日会員費との差額補填)

当日会員券

一般 2,500 円

高校生以下 1,000 円

未就学児 無料

— 当日会員券取り扱い —

阪急水無瀬駅前 長谷川書店 / 広瀬一丁目 小林酒店 / 事務局

— お問い合わせ・事務局 —

TEL/075(962)1464 (藤原) / tsujiter@gmail.com

主催：島本音楽協会

出演者プロフィール

名倉 誠人 — Makoto Nakura —



ソロ・マリンバ奏者名倉誠人は、四半世紀にわたり、世界15の国々で国際的な活躍を繰り広げてきた。特に米国では、カーネギー・ワイル・ホールやケネディー・センター等でのリサイタル活動に加え、NY室内管弦楽団、ロサンゼルス室内管弦楽団等、多くのオーケストラとも協奏曲を共演し、その活動は全米41州にわたっている。近年は、ヨーロッパでの活動も多い。ベルリン・フィルハーモニー・ホールでの、真島俊夫作曲マリンバ協奏曲「大樹の歌」の欧州初演や、パリや英国でのリサイタルなど、各地で好評を博している。

日本でも、東京文化会館、サントリーホール、神戸新聞松方ホールなど各地のホールでリサイタルを開催、また、オーケストラや吹奏楽との協奏曲共演など、全国で演奏活動を繰り広げている。打楽器合奏団・パーカッショングループ72のメンバー。日本マリンバ協会・特別会員。

また、ダンス、朗読、映像など、他分野の芸術とのコラボレーションも数多くプロデュースし、マリンバの新しい地平を切り拓いてきた。際立った表現力と、色彩感に富む彼の演奏は、「マリンバを、ストラディヴァリウスにしてしまう」という高い評価を受けている。

2001年には、ISGM新曲委嘱基金を創設し、マリンバのための新作を世界各地の作曲家に委嘱。その委嘱作品は、独奏曲、協奏曲、室内楽曲にとどまらず、他分野の芸術とコラボレーションする作品にも及び、優れた音楽財産を、数多く次世代に残す活動も行っている。

1994年、権威あるYCA国際オーディション（ニューヨーク）に、マリンバ奏者として初めて優勝して以来、文化庁芸術祭新人賞、第一回松方ホール音楽賞大賞、青山音楽賞バロックザール賞、神戸灘ライオンズクラブ音楽賞、第一回Kobe Art Award大賞、そして、昨年は、神戸文化支援基金より「こぶし志縁賞」を受賞。英国王立音楽院からは、栄誉、ARAMも受けている。神戸市出身。ニューヨークに在住。

教育活動にも情熱を注ぎ、世界各地の大学をはじめ、全米70校の大学で、マスタークラスを行うほか、小・中・高等学校を訪れ、多くの子供達のために演奏してきている。京都市立芸術大学では六年間にわたり教鞭を執った。

委嘱作品を収録した四枚のCD（「リチュアル・プロトコール」、「トリプル・ジャンプ」、「森と木の音楽」、「田辺恒弥マリンバ作品集」）と、全作バッハ作品の二枚のCD（「Bach Beat」、「Bach Beat II」）、日本プロ音楽録音賞を受賞したCD「涙と祈り」に加え、最新アルバム「バッハ・パラレルズ」がリリースされている。また、自作曲「エレジー」や編曲作品集二巻が、風の音ミュージックパブリッシングより出版されている。

makotonakura.com